

# 歯と口の健康推進指定校連絡会議 2011年度定山溪小学校の取り組み

2012年2月17日

定山溪小学校 養護教諭 若狭 恵理子

## \*定山溪小学校概要

・全校児童数 35名 ・教職員 15名

(1学年8名:2学年4名:3学年8名:4学年4名:5学年4名:6学年5名:しらかば学級2名)

## \*2011年度の取り組みと結果

### ① 歯みがきタイム(通年・5分)

毎日歯みがきタイムの時間をもうけ、保健体育委員が「プラークねらいうち」(3分間)の曲を放送で流している。担任や養護教諭が巡回指導をし、染め出し液と手鏡を用いて、学校だけではなく家庭でも歯を丁寧にみがくことができるように、習慣をつけさせる取り組みを行っている。

### ② 春の歯科検診の有効活用

学校歯科医の平山先生が一人一人丁寧に検診をして、子どもたちに直接アドバイスをしている。そのアドバイスを養護教諭がメモをして、歯科検診のお知らせとともに保護者に伝えている。学校歯科医の貴重なアドバイスを大切に、その後の学級活動に取り入れ指導に活かしている。

### ③ 歯科検診と歯科衛生士による個別歯みがき指導

11月には、春の歯科検診から半年間で口腔状態がどのように変わってきているかを診るために検診を実施している。その結果を受けて、歯科衛生士による個別歯みがき指導が行われ、個々のみがけていないところは、さらに歯科医の平山先生よりアドバイスを受けることで、歯みがきの技術を習得することができた。

### ④ 歯みがき大賞(年に4回)

5月の歯科検診の結果、9月の養護教諭による口腔内検査、11月の歯科検診の結果、2月の養護教諭による口腔内検査により「歯みがき大賞」を表彰した。4か月に一度という短いスパンで「歯みがき大賞」の表彰を設けることにより、1年を通して子どもたちの歯みがきに対する意欲を持続させることができた。また、年度末に「歯みがき大大賞」(年間すべて大賞受賞者)を設けたことで、子どもたちの意識に「更に上を目指す」気持ちが芽生えている。

### ⑤ 歯みがきカレンダー

夏休みと冬休みに歯みがきカレンダーを渡し、継続的に歯みがきができるよう意識化している。冬休みには染め出し液と歯ブラシを一人一本ずつ渡し、家庭でも学校と同じように丁寧に歯みがきができるような環境を整えた。保護者からのコメント欄を設け、励ましの言葉をもらうことで歯と口に対する保護者や子どもの意識が非常に高くなっている。しかし、2極化の傾向も見られるため、どの子どもにも意欲的に取り組んでもらえるような改善が必要である。

## ⑥ 和・歯・8020ワールド・むし歯研究所（中学校との合同地域公開）11月15日

7か月の期間をかけて、歯や口に関心を持ち、課題を解決して研究していく取り組みを行った。その結果、歯・口の健康づくりを意欲的に実践しようとする態度が身に付いた。さらに、COのある児童・GOのある児童ごとに課題別のグループわけをし、自らの歯と口の健康を増進させるための課題解決学習をさせることで、歯と口の健康を自分事として捉え、熱心に課題を追求する姿が見られた。また、中学生とともに実践発表することで、保育園児から、大学生、地域の老人会のお年寄りまで、幅広く啓発することができた。

## \*まとめ・課題

毎年実施している歯科保健管理は今年度も継続した。また、歯みがきタイムがマンネリ化し、「みがいているがみがけていない」状況に陥らないために平成19年4月から、週に1度のペースで抜き打ち染め出し検査を実施することで、子どもたちには緊張感の中にも楽しみながらより一層歯みがきに前向きに取り組む態度が見られている。

また、本校では命の指導として、「健康的な生活」「食指導」「性教育」を3つの柱として各学年の発達段階にあわせた系統的な学習を積み上げており、来年度も継続していきたい。

平成13年度から実施し、子どもたちに定着している「むし歯研究所」シリーズ（総合的な学習の時間で15時間）を今年度も継続し、歯と口の健康から生活習慣病予防へとつながる学習内容を検討し、課題解決学習を行った。そして、その学習の成果を今年度も中学校との合同地域公開「和・歯・8020ワールド」で発表した。

全ての子が歯と口の健康を自分事として捉えることに始まり、やがては身体全体の健康へ、さらには自分のよりよい人生へと目が向いていくことを願って来年度も取り組みを続けていきたい。